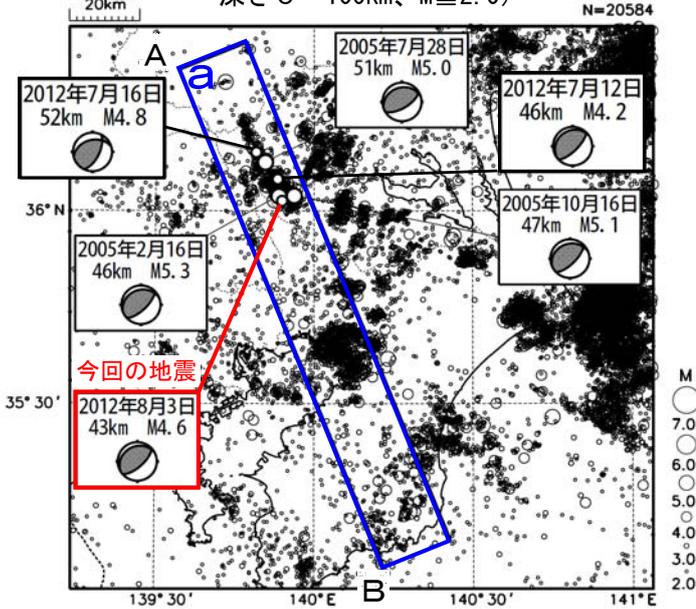
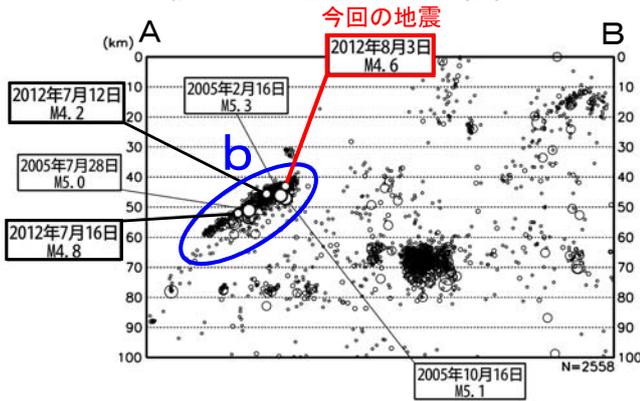


8月3日 茨城県南部の地震

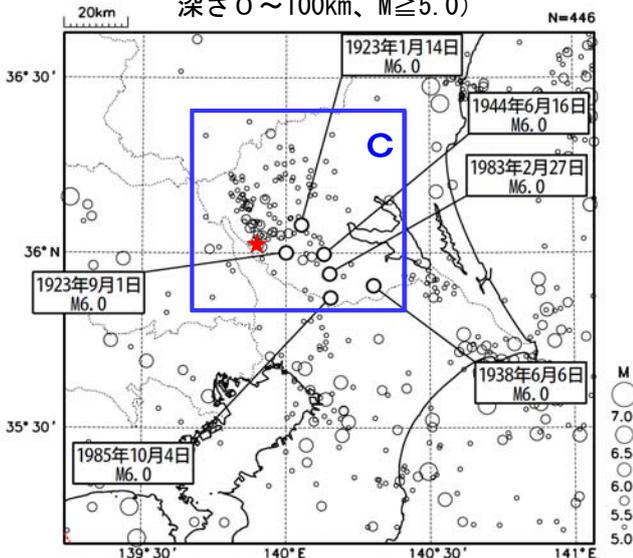
震央分布図 (1997年10月1日~2012年8月4日、深さ0~100km、M \geq 2.0)



領域aの断面図 (A-B投影)



震央分布図 (1923年1月1日~2012年8月4日、深さ0~100km、M \geq 5.0)



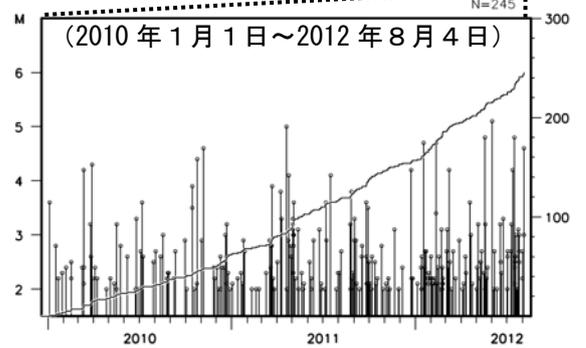
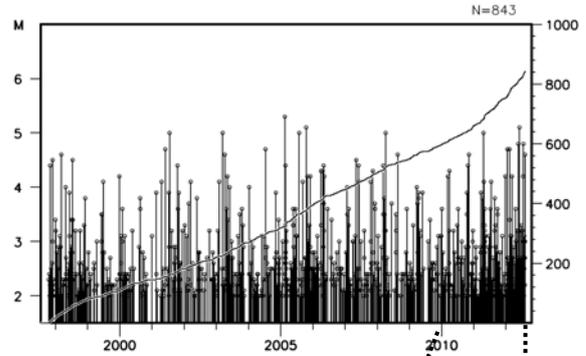
★は今回の地震の震央位置

2012年8月3日22時19分に茨城県南部の深さ43kmでM4.6の地震(最大震度4)が発生した。この地震の発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、陸のプレートとフィリピン海プレートの境界で発生した地震であった。

今回の地震の震源付近(領域b)では、2012年7月12日にM4.2の地震(最大震度3)、同月16日にM4.8の地震(最大震度4)が発生した。これらの地震の発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、陸のプレートとフィリピン海プレートの境界で発生した地震であった。

今回の地震の震源付近(領域b)では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」発生以降、地震活動が以前より活発になっている。

領域b内のM-T図および回数積算図



1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0前後の地震が時々発生している。

領域c内のM-T図

